

北見工業大学における産学官連携活動広報の現状

○月山嵩太（北見工業大学 工学部 バイオ環境化学科 マネジメント工学コース）
 輔師 守（北見工業大学 地域共同研究センター）

1. はじめに

北見工業大学は以前から産学官連携活動が盛んな大学であるとの評価を受けている。^{1)、2)}しかし、学内においても産学官連携活動に携わっていない者には、本学が推進している産学官連携活動とその水準に関する情報は充分には浸透していないように見受けられる。一方、学内関係者をはじめとする大学の全ステークホルダに、大学の活動に関する情報が正しくかつ十分に理解されていることは、大学の教育・研究および社会貢献価値を高め発揮するために極めて重要と考えられる。以上の認識から、在るべき産学官連携活動広報の検討・実現を目的とし、北見工業大学における活動の広報について調査し、行っている連携活動と対比・解析することによりその広報の現状を明らかにした。

2. 方法

1) 調査の対象と範囲 調査の対象と範囲を表に示す。全ての産学官連携活動を網羅するため、本学のあらゆる組織・構成員が学外の産・学・官をパートナーとして行っている活動全てを調査の対象とした。現状で入手可能な媒体に記載されている情報から、産学官連携活動に関する情報を抽出した。また、本調査では最近の28か月間に発信された情報を計数の対象とした。

2) 計数方法 今回の調査では個々の活動の細部・内容には踏み込まず、活動情報の開示件数と活動件数の計数のみを行った。情報開示、活動ともに、対象媒体に記載された情報のうち、情報開示・活動の規模にかかわらず産業界、行政、教育界と連携していると認識できる活動とその情報開示を抽出し、件数をカウントした。産学官連携活動がリスト化されている情報については、リスト中の個々の活動を1件とする方法と、リストを1件とする方法の2通りの計数法を採った。

表 調査の対象と範囲

活動の主体	学内全ての教育・研究・事務組織とその構成員
連携先	産業界組織、行政機関、教育機関
連携の種類	共同研究、受託研究、技術移転、大学機能提供、客員教授、公組織委員、地域産業振興、地域文化振興、教育・啓発、地域行政支援、人材交流、情報共有、運営協力
調査媒体	北見工業大学広報誌「オホーツクスカイ」、公組織委員リスト、地域共同研究センター年報、大学内組織HP、共同研究受入一覧、受託研究受入一覧、地域連携研究戦略室パンフレット、研究広報誌「煌めき」、研究推進センター紹介冊子「新しい研究連携の推進」、産学官連携関連広報活動報告(地域共同研究センター内部資料)
対象期間	平成21年4月～平成23年8月

3. 北見工業大学における産学官連携活動広報

上記方法により計測された、北見工業大学における産学官連携活動の学内外への情報開示総数は187件であった。また、連携活動が目に触れる機会・頻度とより相関のある数値を求めるため、連携活動リストを1件と計数し、さらに、容易にアクセスすることができない情報を除外した場合、情報開示数は28件であった。一方、産学官連携活動の中には一般に公開されていないものも数多くあり、連携活動自体の総数は473件と計測された。産学官連携関係者以外に産学官連携と認識することができる情報開示数は、活動自体の数に比べ極めて少ないことが確認できた。

1) 日本経済新聞社「全国大学の地域貢献度調査」、日経グローバル、第79号(2007.7.2.)

2) 日本経済新聞社「大学の地域貢献度ランキング」、日経グローバル、第160号(2010.11.15.)